



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2018~
2019年度
テーマ

国際ロータリー 「インスピレーションになろう」 R.I.会長 パリー・ラシン

地区方針 「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 高山泰四郎

熊本グリーンRC 「手をつなごう、手をのばそう」

熊本グリーンRC会長 本田悟士



インスピレーションになろう

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：本田悟士 ■幹事：福島和見 ■会報担当：栗山義則
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2019年2月4日】

第1331回

2018-2019年度 第23回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

国歌「君が代」

「友と語ろう」(グリーンロータリーソング)

来訪者紹介 (本田 悟士 会長)

- ・熊本西南RC 森山 義文 氏
- ・司法修習生 永田 基樹氏
- ・米山奨学生 シャルマ・ゴパル 君

友情の握手

会長スピーチ (本田 悟士 会長)

皆さまこんばんは。年が明けてからはや1ヵ月が過ぎ、もう2月に入りました。次週2/11は建国記念日(ハッピーマンデーと国民の祝日の話 7/23卓話)で休会ですので、本日が2/18の30周年記念式典前の最後の例会となります。前々週、前週に引き続き30周年式典クラブフォーラムを予定しておりますので、役割分担等を含めた最後の詰めをよろしくお願い致します。

さて、昨日は2/3節分でした。皆様のご自宅では豆まきされましたか(最近では恵方巻きなども節分の行事としてここ熊本にも根付つつありますね。大阪発祥と聞きますが、兵庫出身の永田修習生いかがですか。身近な行事として以前から続いていたものですか?)。

か?)。

この豆まきの由来、歴史や意義については今回は立ち入りませんが、行為だけ取り出してみると、鬼役の人に対して豆を投げつけるものです。石つぶてよりはましですが、人に向かって、物を投げつける行為は本来違法な行為です。刑法上も、怪我させずとも暴行罪(第208条暴行を加えた者が人を傷害するに至らなかったときは、2年以下の懲役若しくは30万円以下の罰金又は拘留若しくは科料に処する。)、怪我させてしまえば傷害罪(第204条人の身体を傷害した者は、15年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する。)に該当します。しかし、豆まきで豆を投げつけたからといって捕まりはしません。なぜか。“被害者”である鬼本人が同意しているからです。当たり前ですが、物を投げつけたり、場合によっては傷つけたり、物を壊したり、刑罰を定めてまで守ろうとしたそのものについて権利を有する被害者本人の同意がある場合にまで、わざわざ刑法を発動させる必要はないわけです。しかし、同意があるからといって、なお許されない、処罰されるものもあります。殺人や放火(殺人罪→同意殺人罪、現住建造物放火→非現住建造物放火)や、13歳未満の物に対する強制性交など。守るべきものの性質や同意者の能力などを踏まえて、自由な処分を許しうるか、どの範囲まで同意によって許されるか、個別に考える必要があるためです。例えば同意殺人については、生命という重大な法益の処分については、刑法が後見的な見地から介入して他人の関与を排除しようという価値判断が背景にありますし、

卓話予定

- 2/25 司法修習生 永田 基樹 氏
- 3/4 「PETS報告」及び「第4回クラブ協議会」
- 3/11 ★熊本グリーンロータリーアウトクラブとの合同例会
「熊本グリーンロータリーアウトクラブ活動報告」

【熊本グリーンRCホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

関与を排除しようという価値判断が背景にありますし、放火については、公共の危険についてまでは建物の所有者の同意で払拭されるはずありません。

では、豆まきに絡んで当初触れた、暴行、傷害についてはどうでしょうか。命にまでは関わらないので無制限に、本人が同意していれば許されることになるのでしょうか。

無限定に許されるとする考え方、行為が社会的に相当な範囲であればOKとする考え方、生命に危険を生じるような傷害については同意があってもNGとする考え方などがありますが、

判例は、保険金詐取目的で仲間と共謀して事故を起こし仲間を怪我させた事案で、単に承諾が存在するという事実だけでなく、右承諾を得た動機、目的、身体傷害の手段、方法、損傷の部位、程度など諸般の事情を照らし合わせて決すべきとしています（最高裁昭和55年11月13日決定）。暴力団の指づめなども、本人が同意していればOKとはならないと考えられます。

豆まきについて、これが犯罪にあたらぬというのは当たり前だと皆様お思いかとおもいますが、このように同意の意味、効果に絡んで奥深いもの??があるわけですね。

今年も無病息災、幸せな一年にして参りましょう。

幹事報告 (福島 和見 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

「抜粋のつづり その七十八」の寄贈のお知らせ

本日、例会場受付にて配布致しました「抜粋のつづり」はクマヒラ金庫の創業者より親子3代にわたり、全国のロータリアンはもとより、115ヶ国の日本大使館や各種団体、企業に毎年45万部ほどを無料配布されています。ここ1年間の新聞、雑誌、書籍などから、心に響くエッセイ、コラムを36編を抜粋しまとめておられます。朝の朝礼や挨拶等に引用されても良いかと思われまますのでご一読下さい。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本城東RC】

2月25日(月)の例会は、熊本第3グループIMのため、2月22日(金)15:00より、ホテルキャッスルにて行います。

【熊本平成RC】

2月27日(水)の例会は、歳祝い会のため、同日18:30より味の波止場にて行います。

【熊本RC】

3月8日(金)の例会は、80周年記念式典のため、3月9日(土)15:00より、ホテルキャッスルにて行います。

【熊本東南RC】

3月20日(水)の例会は、創立35周年記念花見例会及び米山奨学生送別会のため、同日18:30より、瑞恵にて行います。

出席報告

(長野義文クラブ管理運営委員 (出席担当長))

	会員総数	22名	出席率
2月4日	出席免除会員数	0名	71.43%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	15名	
1月21日	前回の出席会員数	13名	71.43%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	15名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・2/2 熊本グリーンRAC送別会 荒木 君 ・2/2 ロータリーデー ポリオ募金 福島 君 			

委員会報告

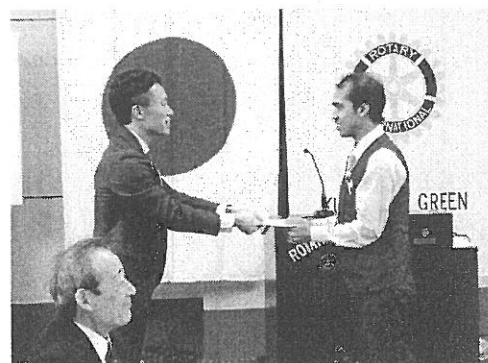
◆地区セミナー出席報告

報告者：山下 佳介会長エレクト

2/2(土)に「ホルトホール大分」にて午前中は「ローターアクト提唱クラブ連絡会」があり、午後は同会場にて「地区補助金セミナー」が開催されました。次年度の為の勉強に行って参りました。

◆米山奨学生シャルマ・ゴパル君へ

2月分奨学金授与



●本田 悟士 君、福島 和見 君「先週末は“ロータリーデー”を兼ねて、開克行ガバナー補佐発案、ご準備のもと「熊本城稲荷神社」の福餅まきとポリオ撲滅募金に、会長、幹事で参加して参りました。天気にも恵まれ、当クラブの会員のために大きな福を頂いて参りましたのでご報告します。」
 ●松村 秀逸 君「1月29日の私の「新春の集い」の開催につきましては御出席頂きましてありがとうございました。お陰様で無事終了致しました。御礼にスマイル致します。」
 ●中島 光司 君 ①「熊本西南RCの森山様、司法修習生の永田様の当クラブご来訪ありがとうございます。」②「2日の日に宮崎キャンプに行ってきた。今回はソフトバンクを訪問致しました。天気も良くキャンプ観戦には絶好でした。次の日は天気が悪くジャイアンツには行けませんでした。心残りです。」
 ●栗山 義則 君、長野 義文 君、荒木 一之 君、大友 利行 君、田中 純司 君「いよいよ次回2/18は創立30周年記念式典です。今日は最後のクラブフォーラムです。成功に向けて頑張りましょう。」

3. 例会プログラム

卓話 河島一夫創立30周年実行委員長
演題 創立30周年記念事業クラブ・フォーラム



4. 閉会・点鐘

*例会終了後、定例理事会開催



H31. 2. 2 熊本グリーンローターアクトで
長年活躍されていた、澤田裕美子さん送別会



H31. 2. 2 ロータリーデー奉仕活動
ポリオ撲滅募金 本田悟士会長、福島和見幹事



H31. 2. 2 熊本城稲荷神社で初午の際の福餅まき
本田悟士会長、河島一夫会員、松村秀逸会員



2019 学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2019年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が12月上旬から1月下旬にかけて、全国34地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者1,384人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた616人(枠)が合格予定です(今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって人数の変動あり)。このほか、現役奨学生の延長制度である

クラブ支援奨学金、2019学年度から正規プログラムとなった渡日前採用型の海外応募者対象奨学金、台湾および韓国の米山学友会が候補者(博士号をもつ上級研究員)を推薦する海外学友会推薦奨学金の合格予定者も報告されています。

2019学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた850人(枠)となります。

ホーチミンの学友グループが奉仕活動

昨年12月16日、ホーチミンの米山学友グループが第16回奉仕活動を実施しました。ベトナムにはまだ正式な学友会はありませんが、ホーチミンでは学友たちが、年に数回の奉仕活動を続けています。

今回の訪問先はホーチミン市内の視覚障がい者福祉施設、An Binhホーム。以前にも同ホームで奉仕活動をしたことがあり、施設の子供たちと2年ぶりの再会を果たしました。子供たちから口々に「視覚障がい者マラソン大会でメダルを獲得した」「大学を卒業して就職することができた」などの



嬉しい報告を受け、成長を実感する訪問となりました。寄付金約3万円のほか、調理器



具やシャンプーなどの日用品を寄贈しました。

当日は、学友4人のほか、同学友グループが奨学支援しているHUTECH大学のベトナム人学生3人も活動に参加。「ベトナムの若者にも、私たち学友グループの活動に参加してもらうことで、奉仕の精神を身に付けてもらえたら」と、チュオン トゥイ ランさん(2006-07/大宮北東RC)は期待を込めて語りました。

寄付金速報 — 下期も順調にスタート —

1月までの寄付金は前年同期と比べて0.8%減(普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:1.4%減)約850万円の減少となりましたが、直近5年間の中では1月に入金された単月の寄付額では一番多い金額となり、下期も順調に良いスタートを切ることができました。

1月は普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付)下期分の納入が主となります。今年度は1月末までに全クラブの75%、1,696クラブからご納入いただきました。今後ともご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。